

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 概要【交野市】①

■調査の目的

- ◆義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の結果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◆学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◆そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

■調査の概要

- ◆調査実施日：平成31年4月18日（木）
- ◆調査の対象学年：①小学校第6学年 ②中学校第3学年
- ◆調査を実施した児童・生徒数：①小学校：1,028,203人（交野市：10校704人）
②中学校：938,888人（交野市：4校702人）
- ◆調査内容：①教科に関する調査
小学校【国語、算数】・中学校【国語・数学・英語（今年度、新たに追加）】
※英語については「聞くこと、読むこと、書くこと」の結果のみ公表
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童・生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）
 - ・学校に対する調査（指導方法に関する取組みや人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）

◎今年度調査の特徴

- ・新学習指導要領の趣旨を踏まえ、従来のA問題（知識・技能等）とB問題（活用等）の区分を見直し、知識・活用を一体的に問う調査問題に変更
 - ・英語（中学校）を初めて実施、理科は3年に一度程度の実施のため実施されず
- ※本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。
序列化や過度な競争につながらないように十分配慮します。
- ※交野市全体の児童・生徒の現状を十分に把握して、今後の教育施策に反映させ、「生きる力」を育むことに活用します。



【平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 交野市】【結果概要①】②

平成31年4月18日実施

【H31(R1)平均正答率(%)】

小学校

	交野市	大阪府	全国
国語	60.3	60.3	63.8
算数	67.1	66.4	66.6

中学校

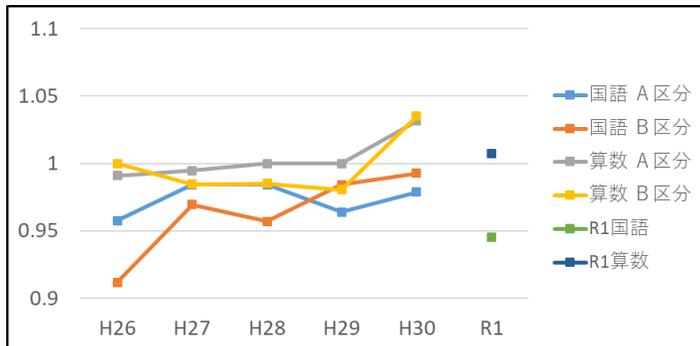
	交野市	大阪府	全国
国語	73.1	70.0	72.8
数学	60.8	58.3	59.8
英語	58.0	56.1	56.0

【平成26年度～平成31年度（令和元年度）区分別正答率】

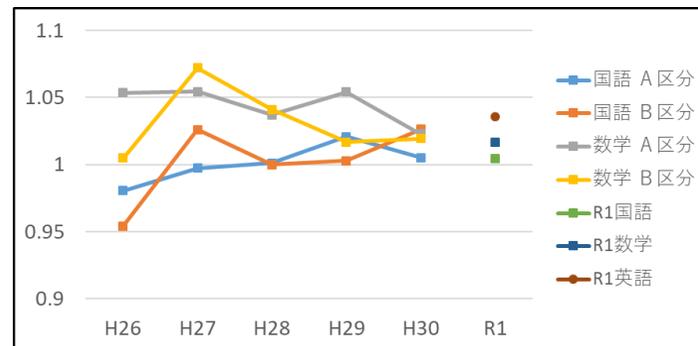
			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年(令和元)度			
			交野市	全国	差	交野市	全国	差													
小学校	国語	A区分	69.8	72.9	-3.1	68.9	70.0	-1.1	71.7	72.9	-1.2	72.1	74.8	-2.7	69.2	70.7	-1.5	国語	60.3	63.8	-3.5
		B区分	50.6	55.5	-4.9	63.4	65.4	-2.0	55.3	57.8	-2.5	56.6	57.5	-0.9	54.3	54.7	-0.4				
	算数	A区分	77.4	78.1	-0.7	74.8	75.2	-0.4	77.6	77.6	0	78.6	78.6	0	65.5	63.5	+2.0	算数	67.1	66.6	+0.5
		B区分	58.2	58.2	0	44.3	45.0	-0.7	46.5	47.2	-0.7	45	45.9	-0.9	53.3	51.5	+1.8				
	理科	-	-	-	57.7	60.8	-3.1	-	-	-	-	-	-	59.1	60.3	-1.2	理科	-	-	-	
中学校	国語	A区分	79.0	79.4	-0.4	75.6	75.8	-0.2	75.7	75.6	+0.1	79.0	77.4	+1.6	76.5	76.1	+0.4	国語	73.1	72.8	+0.3
		B区分	50.9	51	-0.1	67.5	65.8	+1.7	66.5	66.5	0	72.4	72.2	+0.2	62.8	61.2	+1.6				
	算数	A区分	70.5	67.4	+3.1	67.9	64.4	+3.5	64.5	62.2	+2.3	68.1	64.6	+3.5	67.6	66.1	+1.5	数学	60.8	59.8	+1.0
		B区分	60.8	59.8	+1.0	44.6	41.6	+3.0	45.9	44.1	+1.8	48.9	48.1	+0.8	47.8	46.9	+0.9				
	理科	-	-	-	54.9	53.0	+1.9	-	-	-	-	-	-	66.7	66.1	+0.6	理科	-	-	-	
英語	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58.0	56.0	+2.0	英語	58.0	56.0	+2.0		

【正答率対全国比経年比較】

小学校



中学校



【平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 交野市】【結果概要②】③

平成31年4月18日実施

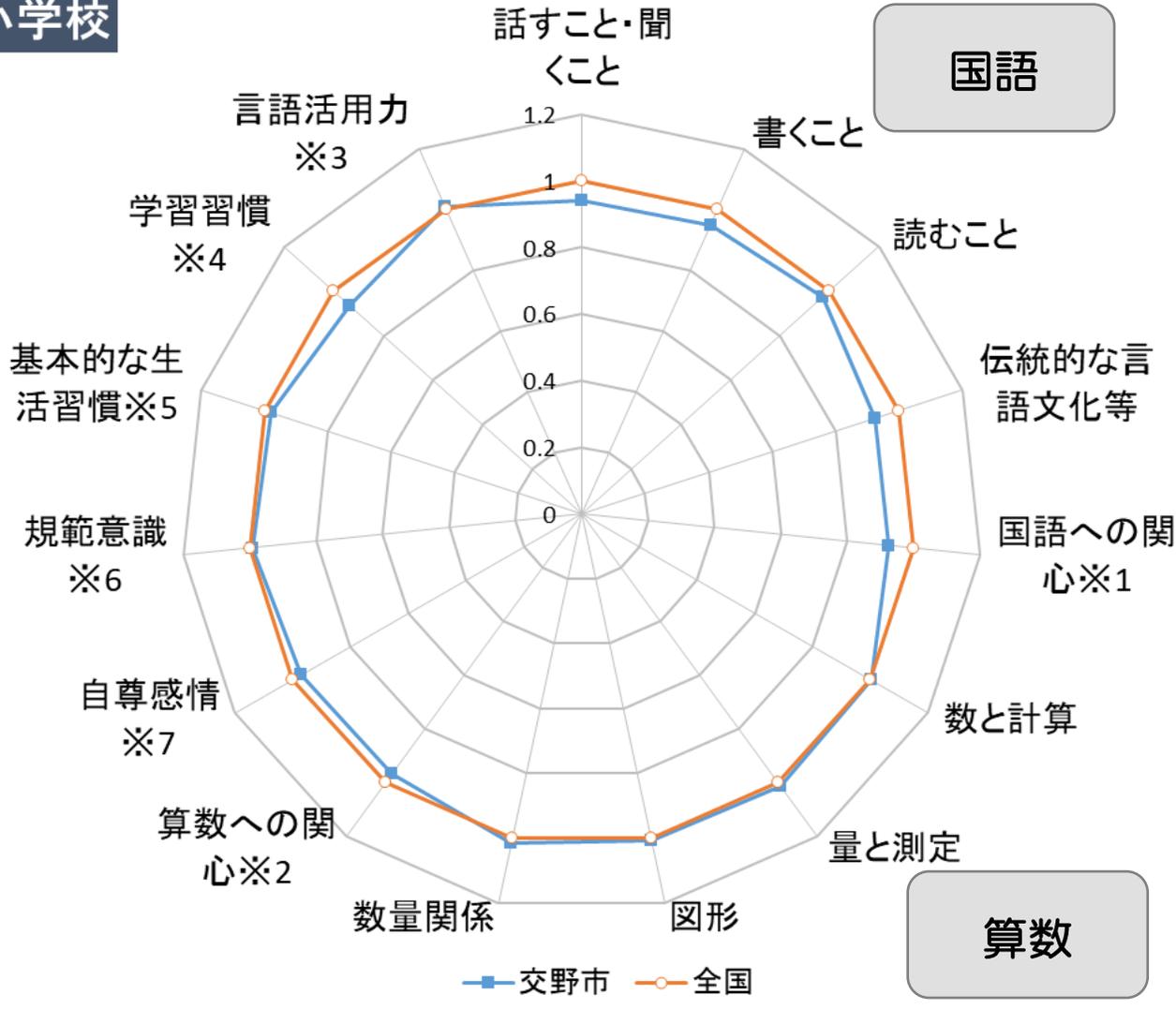
【平成26年度～平成31年度（令和元年度） 区分別無解答率(%)】

			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年(令和元年)度			
			交野市	全国	差	交野市	全国	差													
小学校	国語	A区分	3.2	2.3	+0.9	3.8	3.6	+0.2	6.6	5.3	+1.3	4.5	2.8	+1.7	5.4	3.5	+1.9	国語	8.3	6.2	+2.1
		B区分	13.5	9.2	+4.3	8.1	6.1	+2.0	6.8	4.6	+2.2	6.3	4.3	+2.0	4.2	3.8	+0.4				
	算数	A区分	0.7	0.9	-0.2	2.0	1.8	+0.2	2.1	1.8	+0.3	1.6	1.6	0	2.4	2.5	-0.1	算数	3.5	2.7	+0.8
		B区分	5.3	4.3	+1.0	10.1	9.1	+1.0	9.2	7.4	+1.8	7.7	6.8	+0.9	7.8	7.9	-0.1				
	理科		—	—	—	3.9	3.2	+0.7	—	—	—	—	—	—	1.3	1.2	+0.1	理科	—	—	—
中学校	国語	A区分	3.5	3.1	+0.4	2.8	2.6	+0.2	2.1	2.0	+0.1	2.4	2.4	0	3.1	3.1	0	国語	2.5	2.6	-0.1
		B区分	4.9	3.5	+1.4	2.5	2.2	+0.3	4.7	4.4	+0.3	4.0	3.8	+0.2	3.6	3.0	+0.6				
	数学	A区分	4.5	4.3	+0.2	3.3	3.7	-0.4	6.3	6.3	0	5.5	6.3	-0.8	3.0	3.3	-0.3	数学	7.5	7.3	+0.2
		B区分	12.6	10.9	+1.7	16.2	15.3	+0.9	14.7	14.7	0	11.1	11.7	-0.6	14.6	12.6	+2.0				
	理科		—	—	—	7.6	7.0	+0.6	—	—	—	—	—	—	5.3	5.0	+0.3	理科	—	—	—
																	英語	5.6	6.0	-0.4	



【教科に関する調査及び生活習慣や学習規律等に関する調査より】

小学校



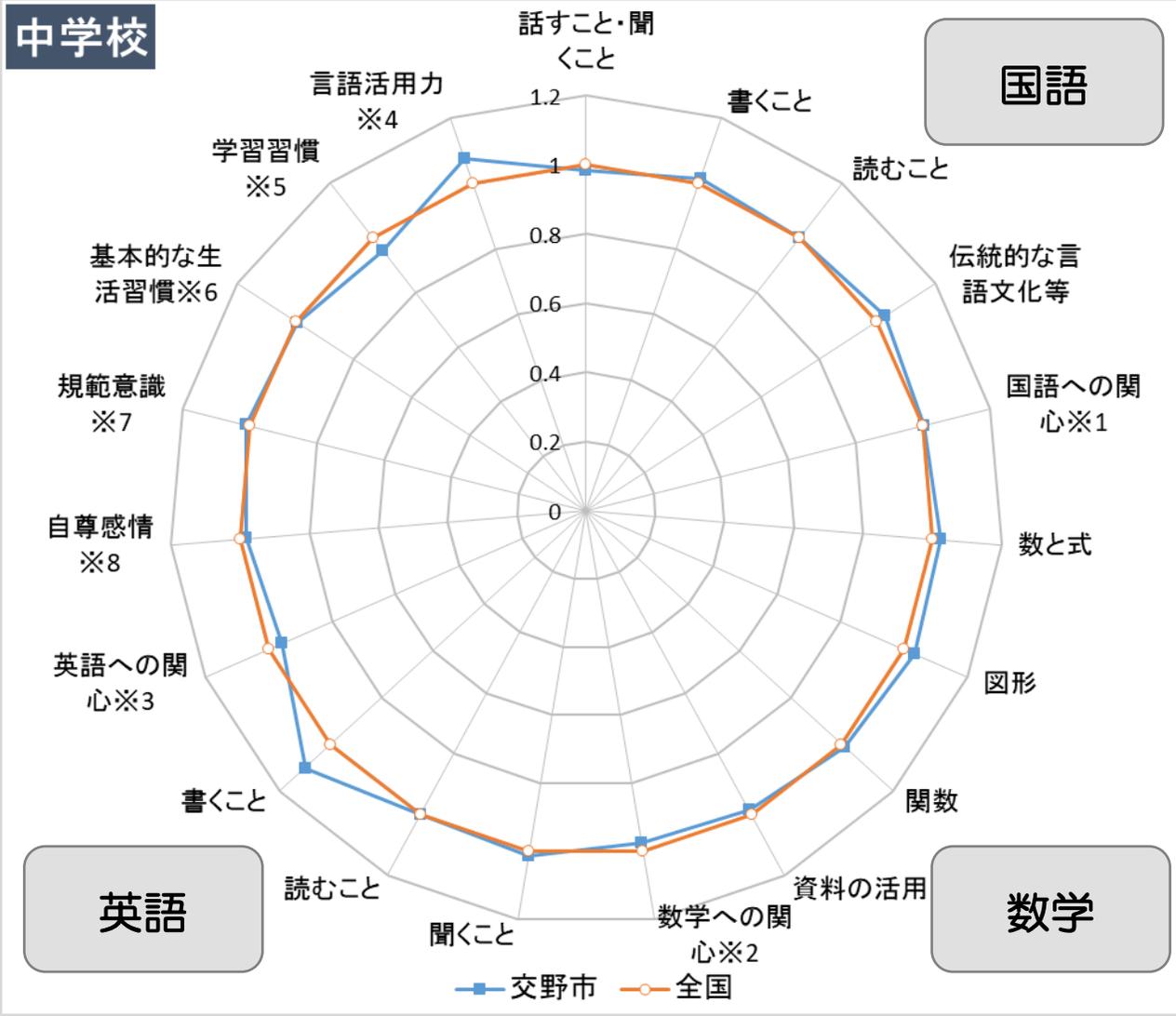
【児童質問紙より】

- ※1 「国語の勉強は好きだ」「国語の勉強は大切だ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合の平均
- ※2 「算数の勉強は好きだ」「算数の勉強は大切だ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合の平均
- ※3 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合の平均
- ※4 「月～金曜日に勉強している1日当たりの時間」に「30分より少ない」「全くしない」以外と答えた児童の割合
- ※5 「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時間に寝ている」「毎日同じくらいの時間に起きている」に「している」「どちらかといえばしている」と答えた児童の割合
- ※6 「学校のきまりを守っている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合の平均
- ※7 「自分にはよいところがある」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合の平均

全国平均を1とした場合の比較



【教科に関する調査及び生活習慣や学習規律等に関する調査より】



【生徒質問紙より】

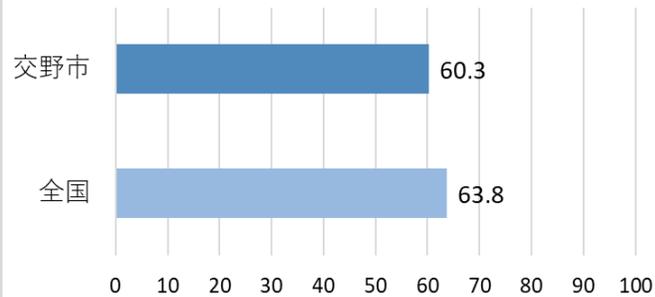
- ※1 「国語の勉強は好きだ」「国語の勉強は大切だ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合の平均
- ※2 「数学の勉強は好きだ」「数学の勉強は大切だ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合の平均
- ※3 「英語の勉強は好きだ」「英語の勉強は大切だ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合の平均
- ※4 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合の平均
- ※5 「月～金曜日に勉強している1日当たりの時間」に「30分より少ない」「全くしない」以外と答えた生徒の割合
- ※6 「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時間に寝ている」「毎日同じくらいの時間に起きている」に「している」「どちらかといえばしている」と答えた生徒の割合
- ※7 「学校のきまりを守っている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合の平均
- ※8 「自分にはよいところがある」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合の平均

全国平均を1とした場合の比較

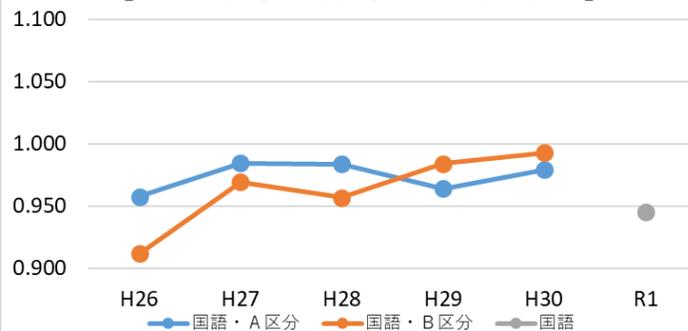


【小学校 国語】

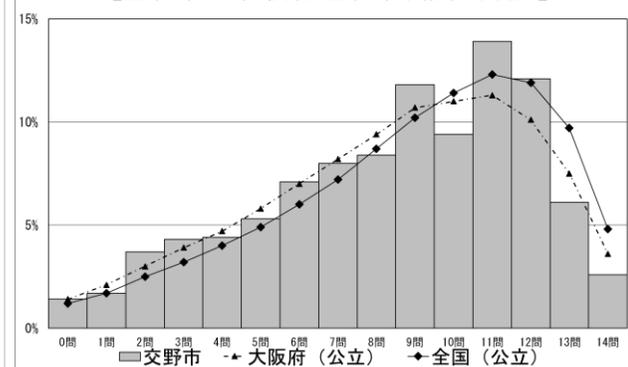
【 正答率(%) 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】



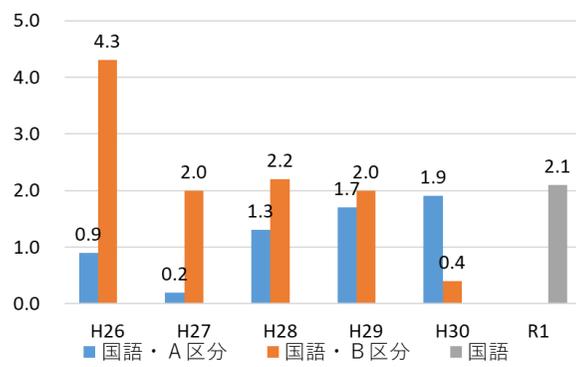
【正答数分布(横軸:正答数、縦軸:割合)】



【 領域・観点・問題形式 】



【 無解答率 全国との差 】



- 平均正答率は全国値を3.5ポイント下回った。
- 対全国比も昨年度より下がった。
- 領域別では、すべての領域が全国値を下回ったが、特に「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質」で課題が見られる。
- 問題形式では、「記述式」「短答式」ともに課題が見られる。
- 無解答率は昨年度の国語Aとほぼ同等であった。

【小学校 国語】

■課題の見られる問題■

【1四（1）ア】

公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の_____部アを、漢字を使って書き直す

■出題の趣旨

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う

■正答率・無解答率

正答率 24.1%（全国:41.9%）

無解答率 11.4%（全国:8.2%）

【正答】 「対象」（24.1%）

【誤答】 「照」と書いたもの（1.7%）

「象」「照」以外を書いたもの（44.9%）

「対」以外を書いたもの（0.6%）

上記以外の解答（17.3%）

無解答（11.4%）

（1）高橋さんは、習っている漢字がひらがなになっていることに気がつき、書き直すことにしました。
【報告する文章】の_____部アからウのひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

そこで、地いきの人三十人を調査のたいしようとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。

【小学校 国語】

■課題の見られる問題■

【3三】

インタビューの様子の中に、畳職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く

■出題の趣旨

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる

■正答率・無解答率

正答率 60.4%（全国:68.2%）

無解答率 22.3%（全国:14.2%）

【正答】条件①②③を満たしている（60.4%）

【誤答】条件①②は満たしているが、③を満たしていない（0.4%）

条件①は満たしているが②を満たしていない（5.8%）

条件②は満たしているが①は満たしていない（6.3%）

上記以外の解答（4.8%）

無解答（22.3%）

三岸さんは、インタビューの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。「インタビューの様子」のイに入る内容を、次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

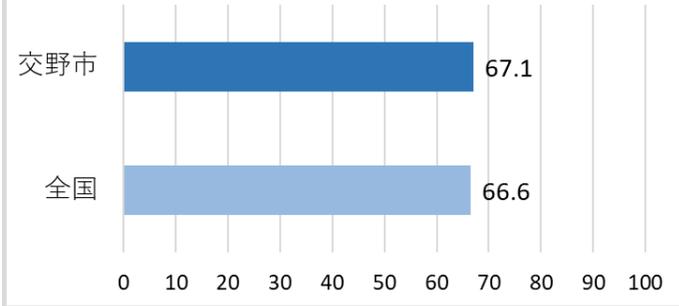
○「インタビューの様子」の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。

○インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。

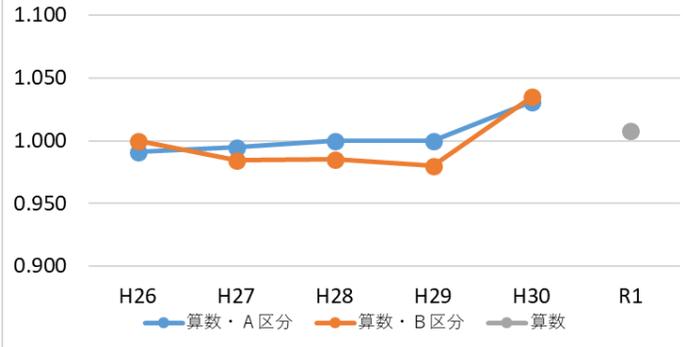
○書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にもとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

【小学校 算数】

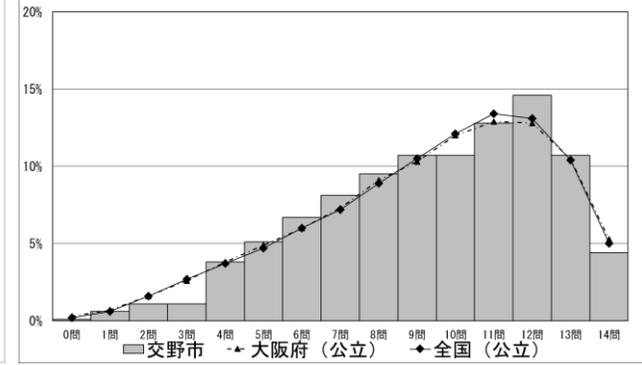
【 正答率(%) 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】



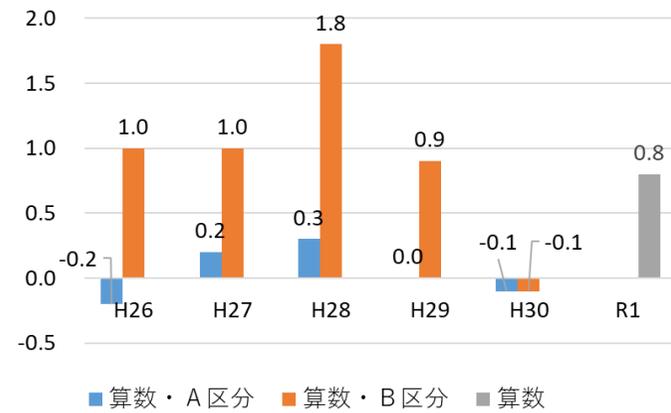
【正答数分布(横軸:正答数、縦軸:割合)】



【 領域・観点・問題形式 】



【 無解答率 全国との差 】

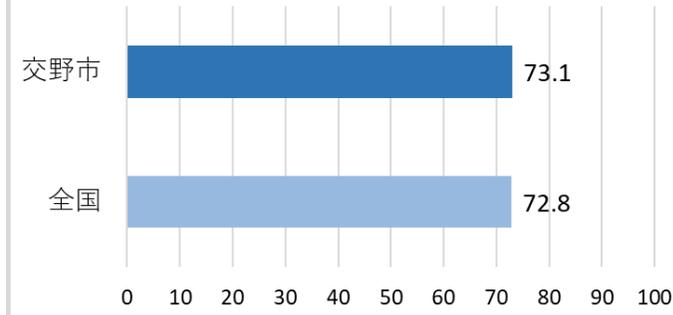


- 平均正答率は全国値を0.5ポイント上回った。
- 領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国値とほぼ同等で、「数量や図形についての知識・理解」は、やや下回った。
- 無解答率は昨年度より高くなった。

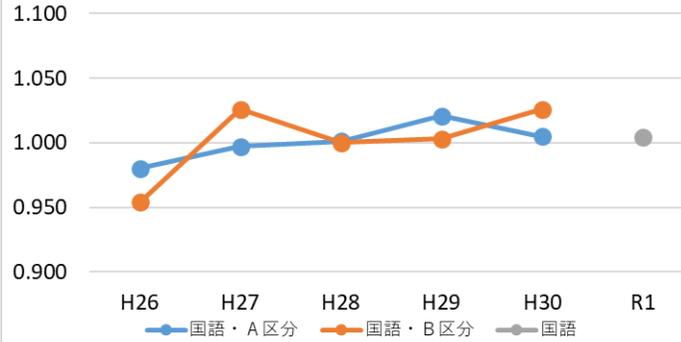


【中学校 国語】

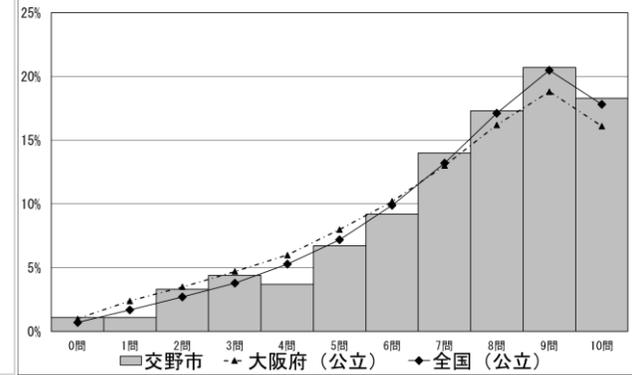
【 正答率(%) 】



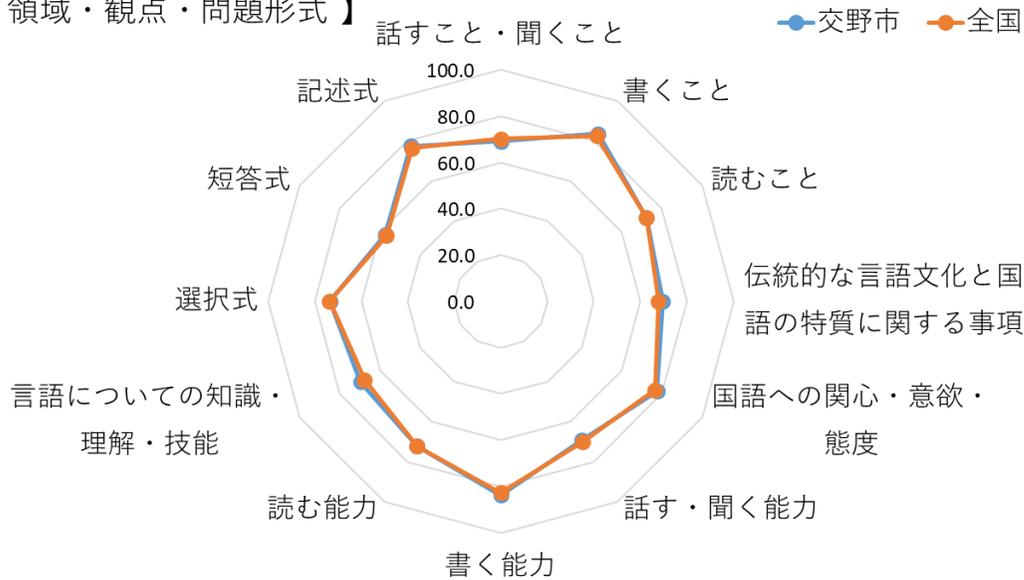
【 正答率対全国平均比 経年比較 】



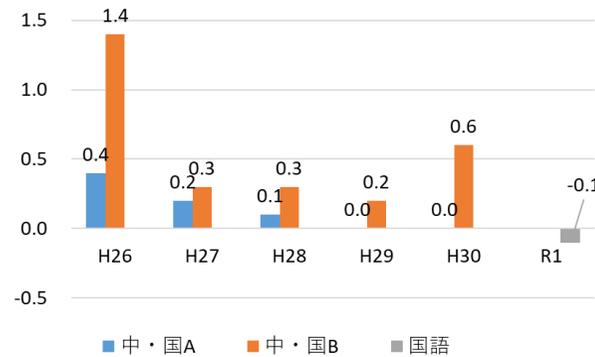
【正答数分布(横軸:正答数、縦軸:割合)】



【 領域・観点・問題形式 】



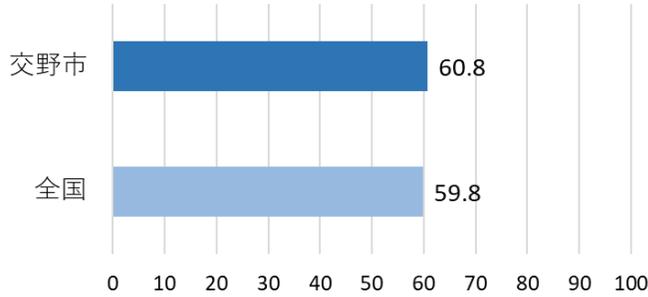
【 無解答率 全国との差 】



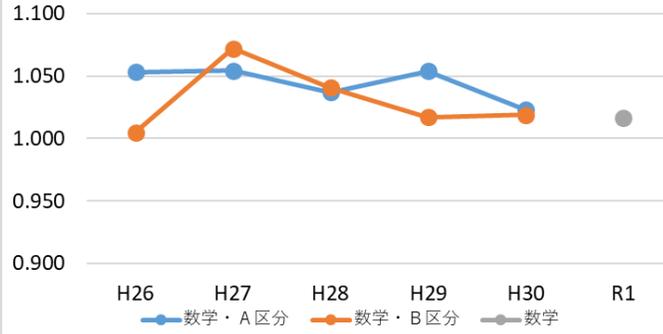
- 平均正答率は全国値を0.3ポイント上回り、対全国比は昨年度値より下がった。
- 領域・観点・問題形式別正答率の状況は、すべてにおいて全国値とほぼ同等で「話すこと・聞くこと」は、やや下回った。
- 無解答率は昨年度より低かった。

【中学校 数学】

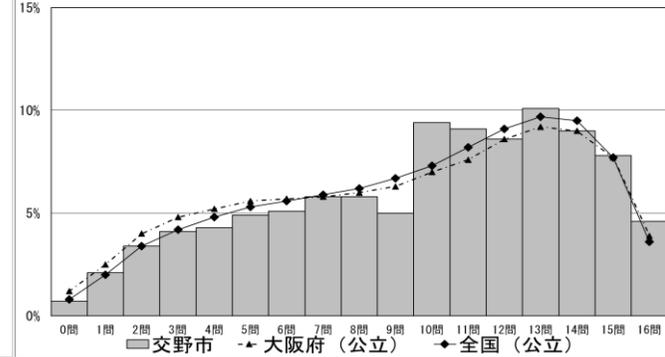
【 正答率(%) 】



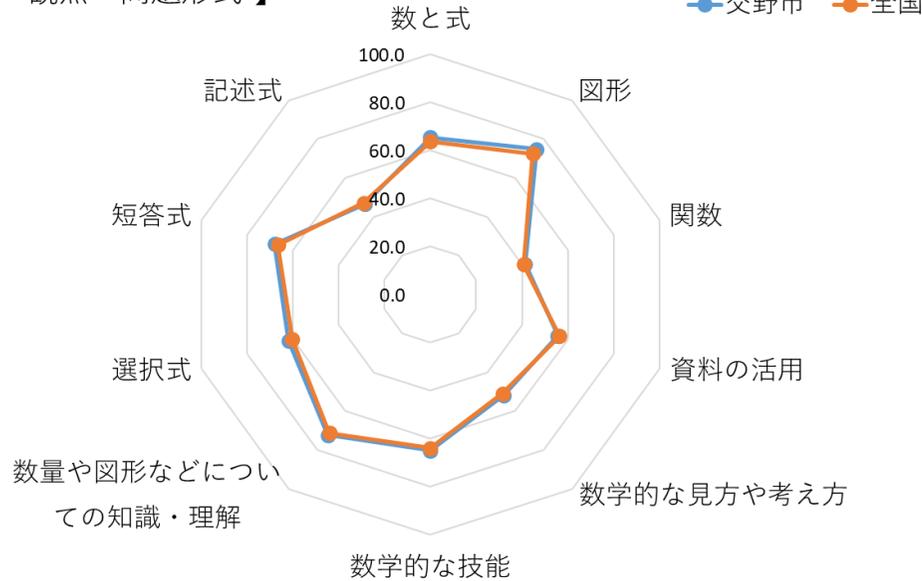
【 正答率対全国平均比 経年比較 】



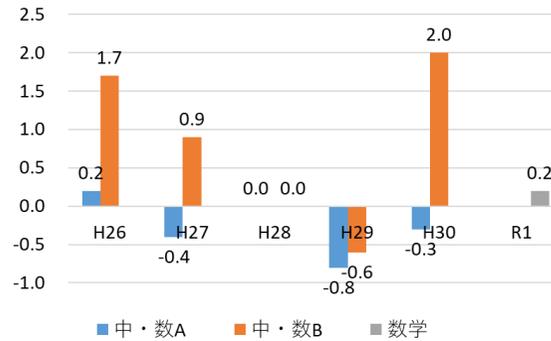
【正答数分布(横軸:正答数、縦軸:割合)】



【 領域・観点・問題形式 】



【 無解答率 全国との差 】

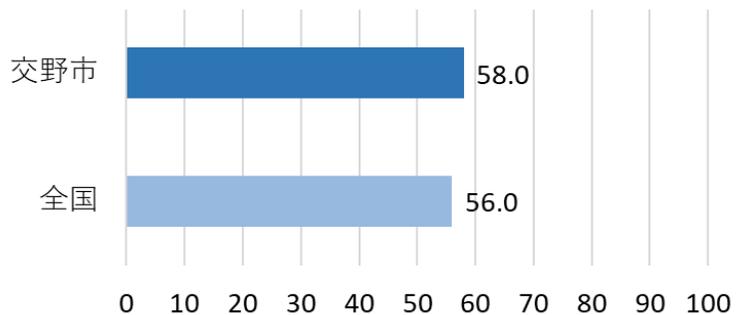


- 平均正答率は全国を1.0ポイント上回っているものの、対全国比は昨年度値より下がった。
- 領域・観点・問題形式別正答率の状況は、すべてにおいて全国値とほぼ同等で「図形」で全国値を上回ったが、「資料の活用」「記述式」の項目において全国値を下回った。
- 無解答率は、昨年度より低くなった。

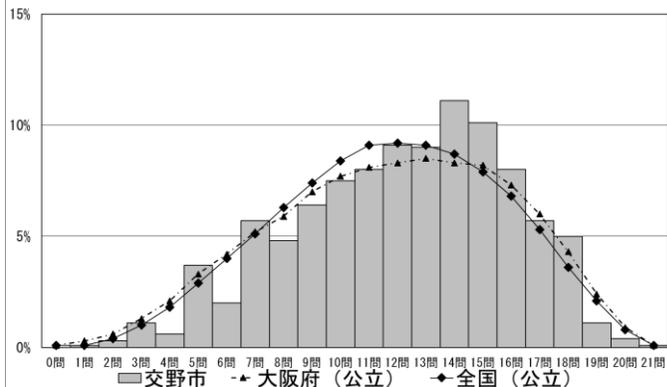


【中学校 英語】

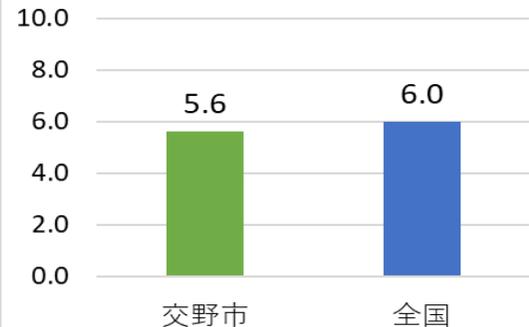
【 正答率(%) 】



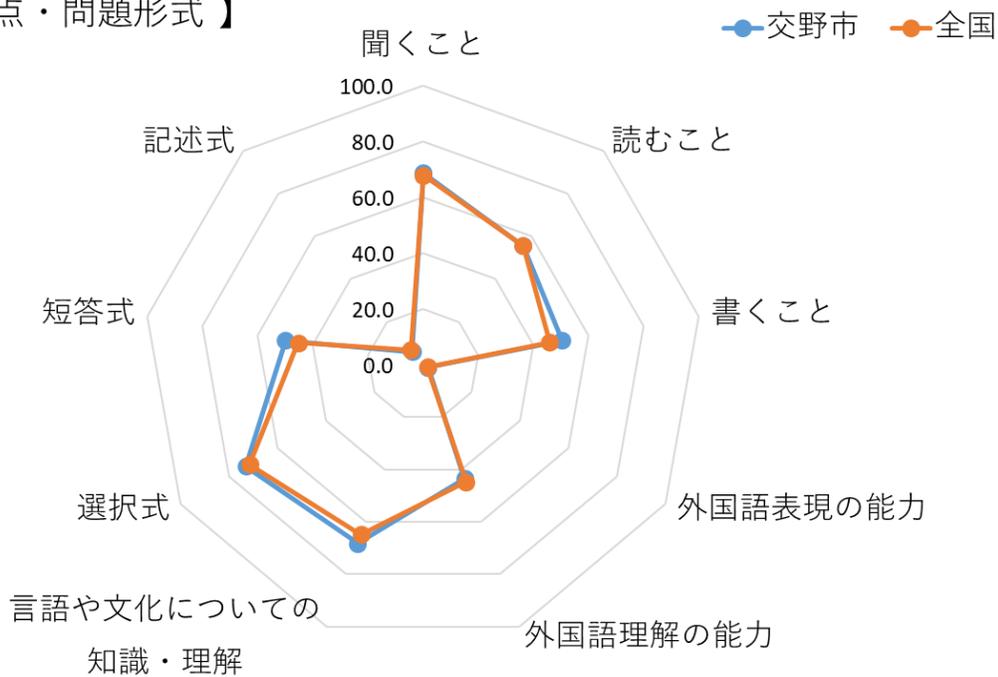
【正答数分布(横軸:正答数、縦軸:割合)】



【 無解答率 】



【 領域・観点・問題形式 】



- 平均正答率は全国値を2.0ポイント上回った。
- 正答数分布の様子も全国より良好。
- 領域・観点問題形式別正答率の状況は全国値とほぼ同傾向であるが、「書くこと」「言語や文化についての知識・理解」「短答式」で全国値を上回った。
- 無解答率は全国より0.4ポイント低かった。



【中学校 英語】

■課題の見られる問題■

【10】 学校を表す2つのピクトグラム
 ラムの案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く

■出題の趣旨

与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる

■正答率・無解答率

正答率 2.0%（全国:1.8%）

無解答率 8.8%（全国:8.3%）

【条件】

- ①どちらの案がよいか、1つを選んで意見を書く。
- ②選んだ理由を、2つの案に触れながら書く。
- ③25語以上の英語で書く。

【最も多かった誤答】

正しい語や文法事項を理解して文章が書けていない（32.1%）

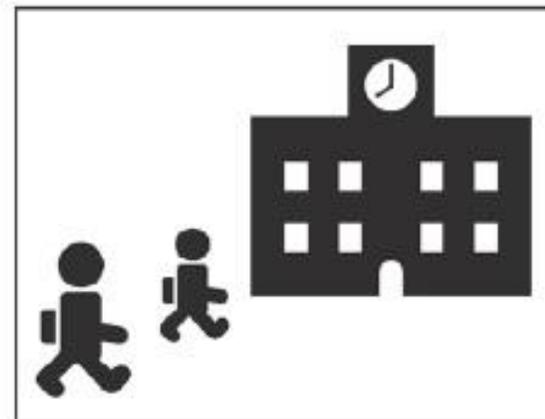
10

海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）のうち、どちらがよいかウェブサイトで意見を募集しています。どちらかの案を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに25語以上の英語で書きなさい。

【A】



【B】



※ 短縮形（I'm や don't など）は1語と数え、符号（, や ? など）は語数に含めません。

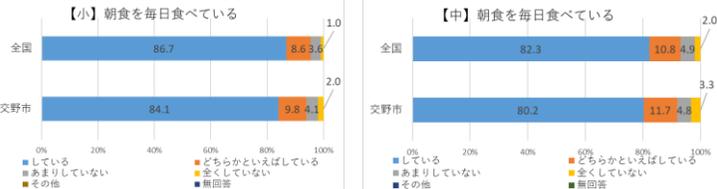
（例） No, I'm not. 【3語】

【児童・生徒アンケートの結果概要】

基本的な生活習慣

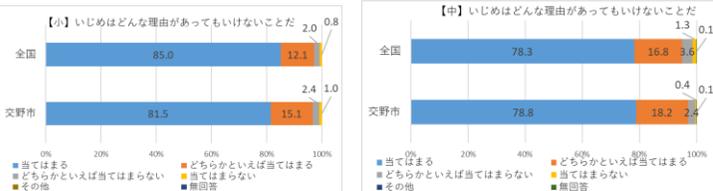
■「朝食を毎日食べている」児童・生徒の割合は、小・中学校とともに昨年度と同程度の割合だが、依然として全国値を下回っている。
 (小：H30 84.7%→R1 84.1%・中：H30 80.3%→R1 80.2%)

- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」児童・生徒の割合は、昨年度より小・中学校ともに増加した。
 (小：H30 77.7%→R1 78.4%・中：H30 75.6%→R1 77.6%)
- 「毎日、同じくらいの時刻に起きている」児童・生徒の割合は、昨年度より小・中学校ともに増加した。
 (小：H30 88.9%→R1 90.5%・中：H30 90.2%→R1 92.8%)



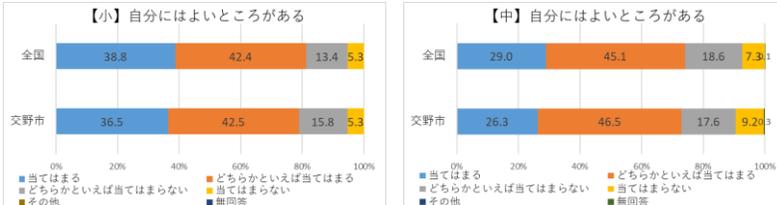
規範意識

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」児童・生徒の割合は、小・中学校ともに昨年度より増加したが、小学校においては全国値よりも0.7ポイント低かった。
 (小：H30 96.4%→R1 96.6%・中：H30 95.6%→R1 97.0%)
- 「学校のきまり（規則）を守っている」児童・生徒の割合は、昨年度より小・中学校で増加した。
 (小：H30 88.3%→R1 91.0%・中：H30 94.9%→R1 96.0%)



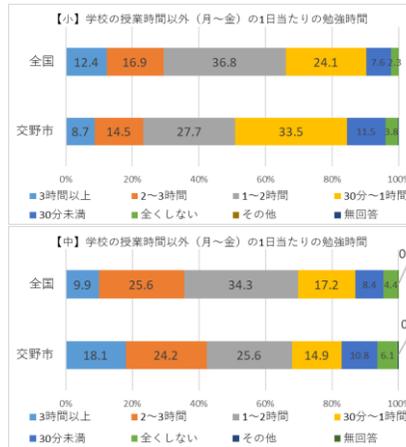
自尊感情

- 「自分にはよいところがあると思う」児童・生徒の割合は、昨年度より小・中学校で減少し、全国値よりも低い傾向にある。
 (小：H30 83.1%→R1 79.0%・中：H30 74.5%→R1 72.8%)
- 「将来の夢や目標をもって」児童・生徒の割合は、昨年度より小・中学校で減少し、小学校においては全国値より3.9ポイント下回った。
 (小：H30 82.6%→R1 79.9%・中：H30 71.8%→R1 71.4%)



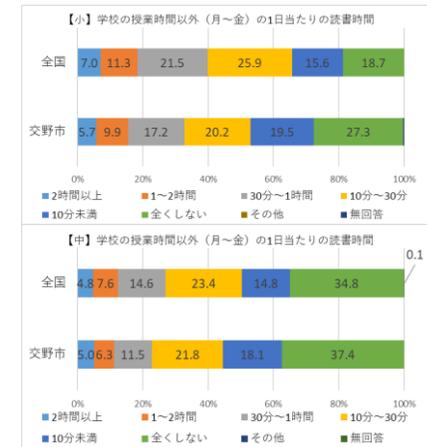
学習習慣

- 「普段の日の家で学習時間が30分未満」の児童・生徒の割合は、小学校では昨年度と同程度であったが、中学校では減少した。
 (小H30 15.1%→R1 15.3%・中：H30 18.7%→R1 16.9%)
- 全国値との比較においては、小・中学校ともに高い結果となった。(全国：小9.9%・中12.8%)

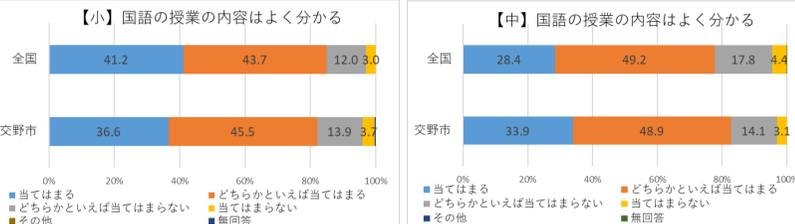


読書習慣

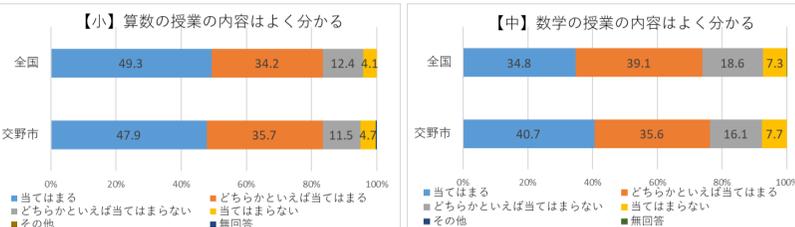
- 「普段の日の家や図書館での読書について、全くしない」以外の児童・生徒の割合は、昨年度より小・中学校ともに減少した。
 (小R1 74.1%→H30 72.7%・中R1 65.0%→H30 62.6%)
- 全国値との比較においては小・中学校ともに低い結果となった。(全国：小81.3%・中65.2%)



授業での様子

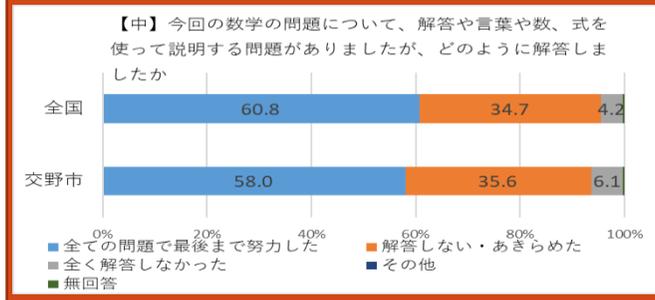
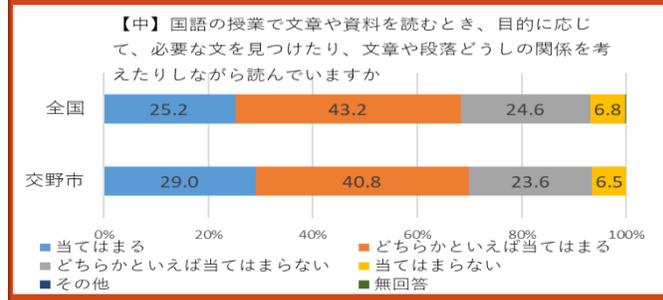
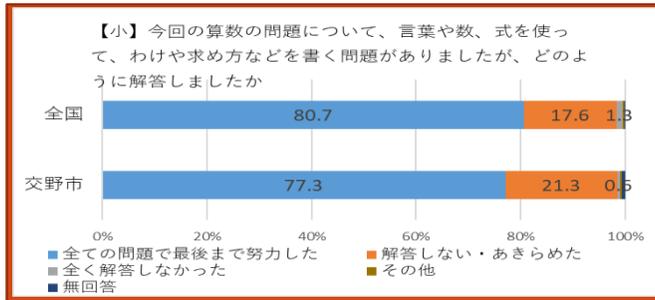
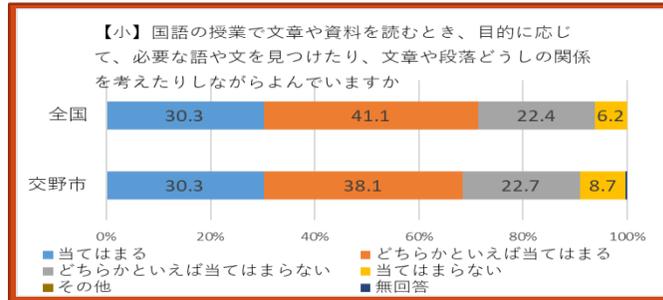
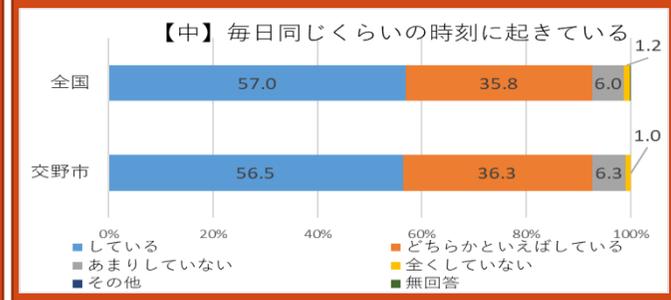
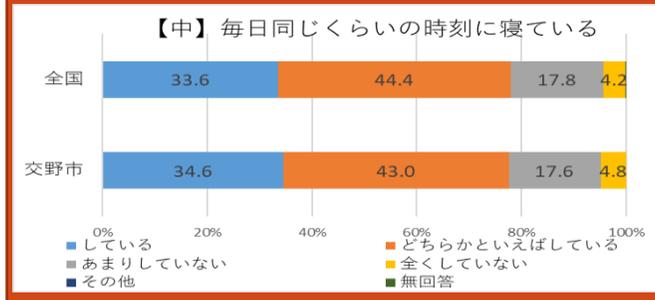
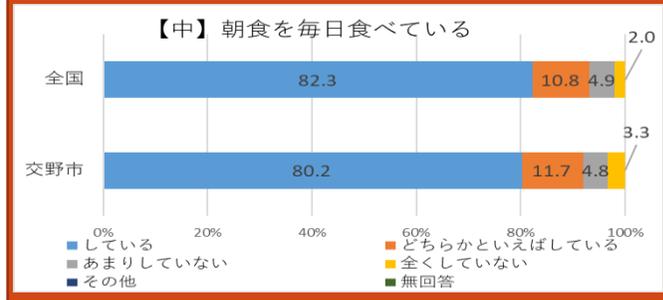
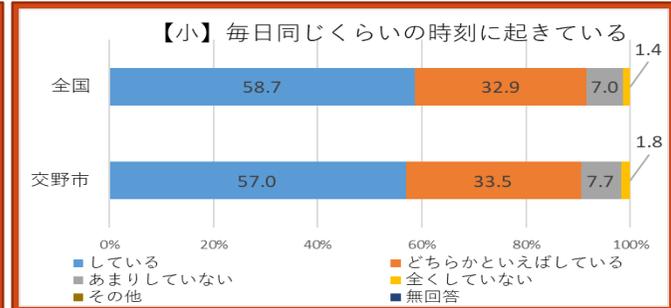
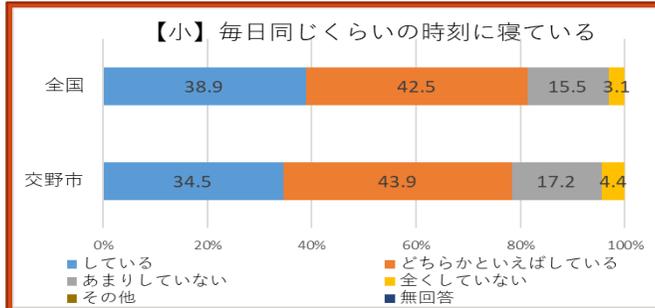
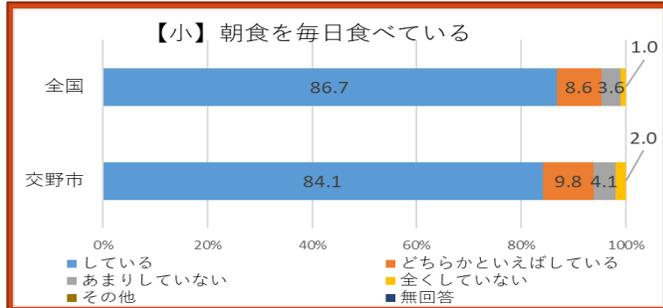


- 「授業の内容はよくわかる」児童・生徒の割合は、
 ①国語においては、全国値より小学校は低く、中学校は高かった。
 (小国82.1% 全国84.9%)
 (中国82.8% 全国77.6%)



- ②算数・数学においては、小・中学校ともに全国値より高かった。
 (小国83.6% 全国83.5%)
 (中国76.3% 全国73.9%)

【生活習慣・学習習慣】（児童・生徒アンケートの結果概要）

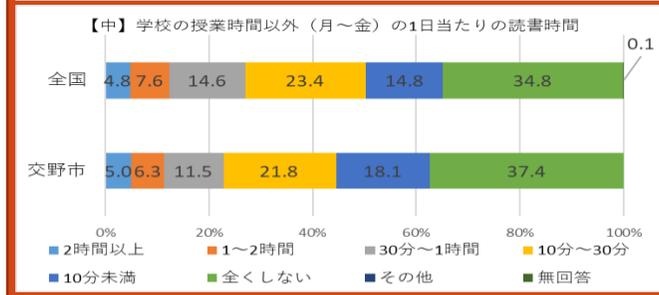
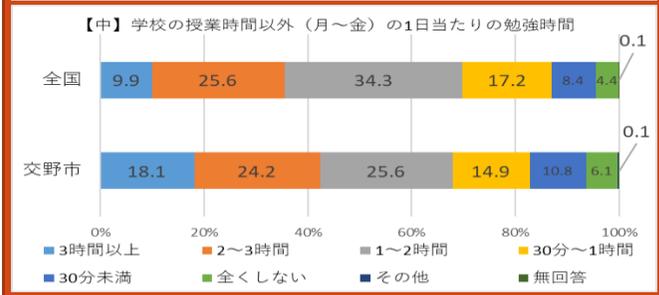
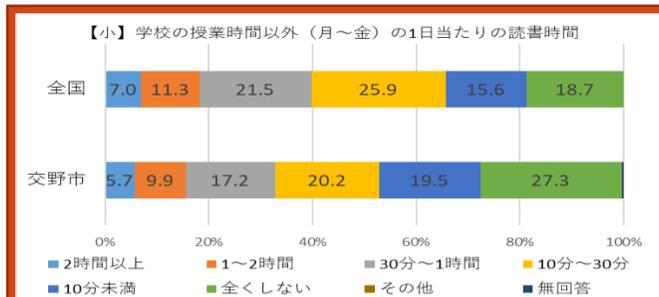
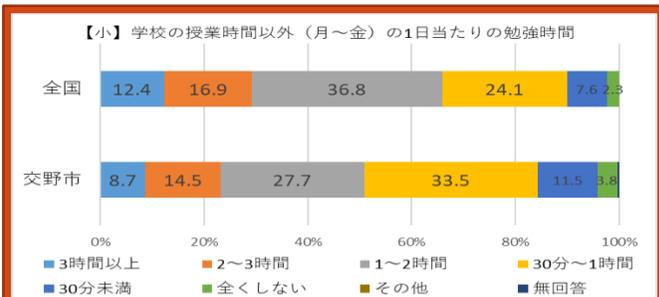
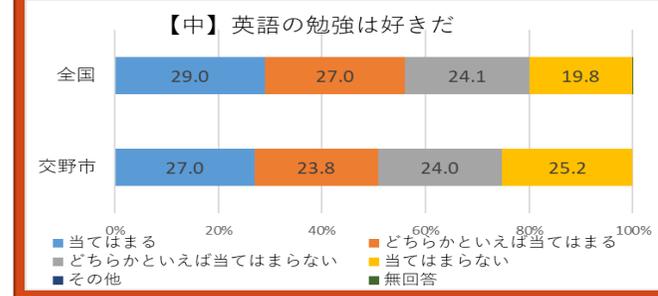
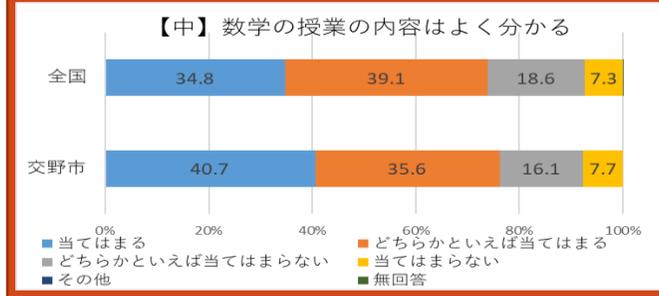
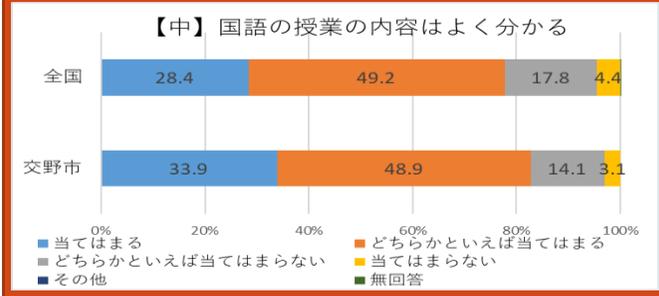
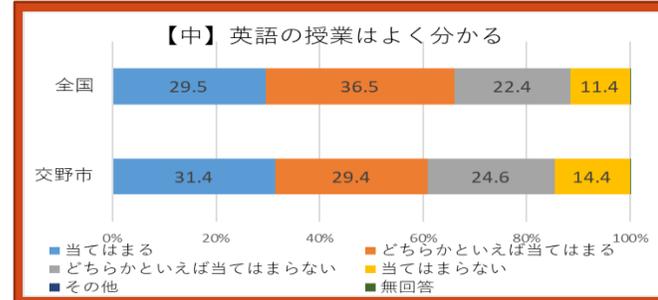
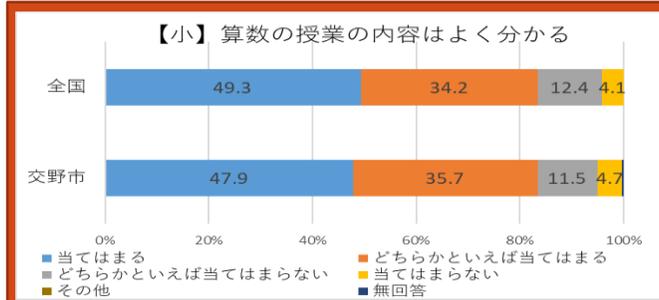
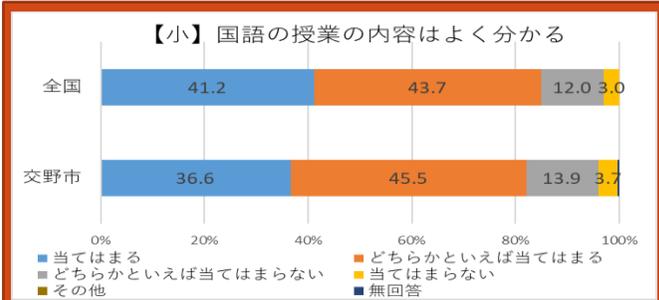


◆「朝食を毎日食べている」の項目における肯定的回答の割合は、小・中学校ともわずかに全国値を下回った。

◆「毎日、同じくらいの時刻に起きている」の項目における肯定的回答の割合は、小・中学校において全国値を下回った。

◆「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えてりしながら読んでいる」における肯定的回答の割合は、小学校では全国値を下回ったが、中学校では全国値を上回った。

【確かな学び】（児童・生徒アンケートの結果概要）

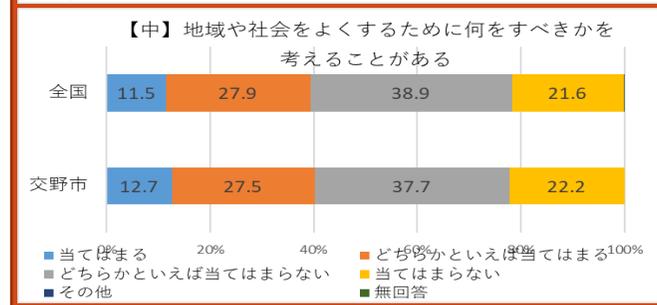
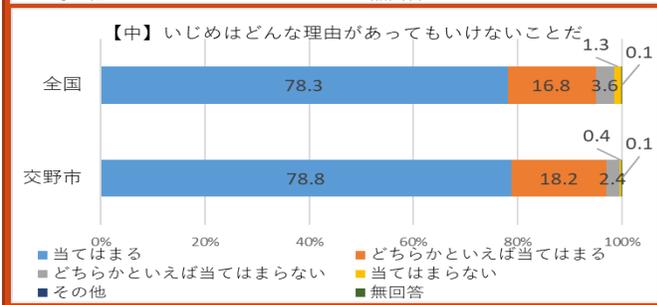
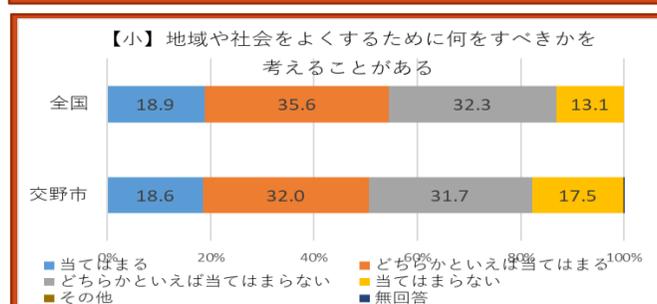
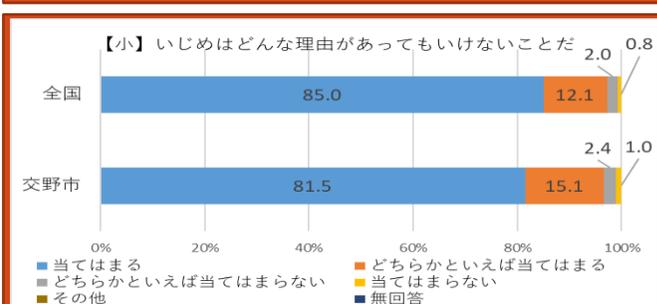
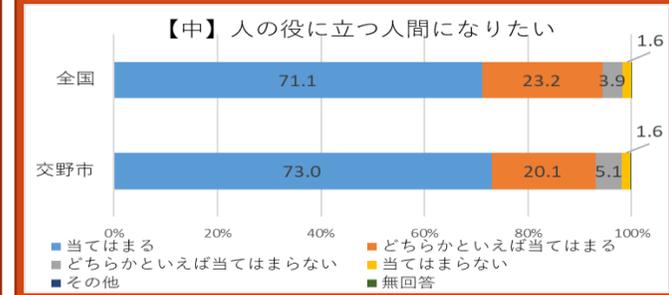
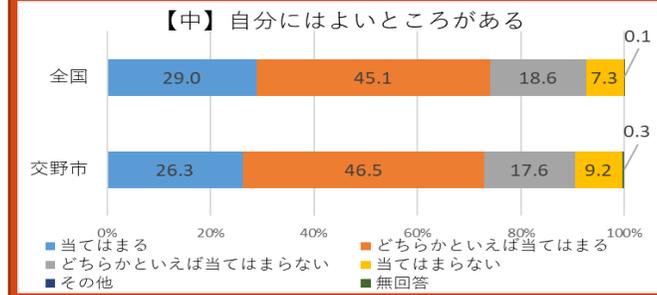
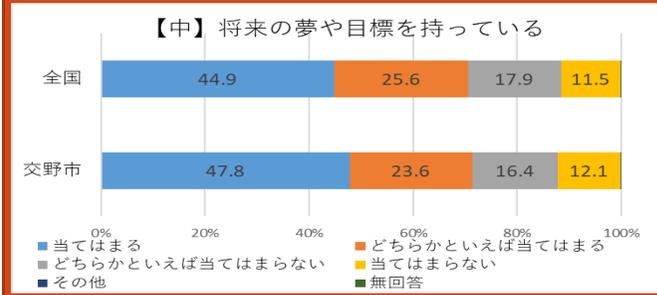
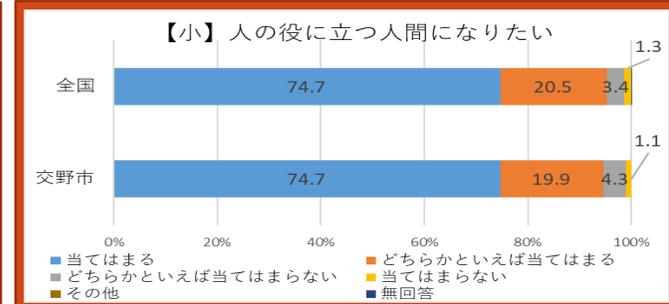
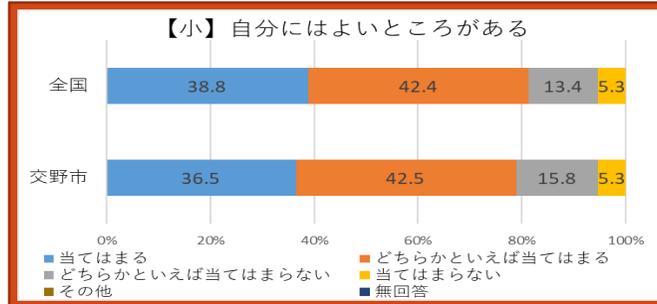
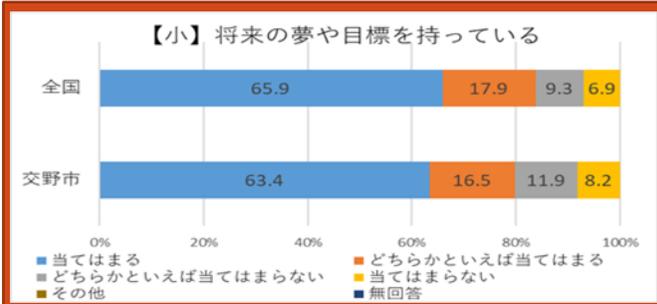


- ◆「国語・算数（数学）の授業の内容はよく分かる」の項目における肯定的回答の割合は、小学校国語において全国値を下回り、中学校では国語・数学ともに全国値を上回っている。
- ◆「英語の授業はよく分かる」の項目における肯定的回答の割合は、全国値を下回っている。
- ◆「1日あたりに勉強する時間が30分未満」と回答した割合は、小・中学校ともに全国値を上回っている。
- ◆「一日に読書を全くしない」と回答した割合は、小・中学校ともに全国値を上回っている。



【豊かな人間性と夢】

（児童・生徒アンケートの結果概要）



- ◆ 「将来の夢や目標を持っている」の項目における肯定的回答の割合は、中学校では全国値を上回っているものの、小学校は下回っている。
- ◆ 「自分にはよいところがある」「人の役に立つ人間になりたい」の両項目における肯定的回答の割合は、小・中学校で全国値を下回っている。
- ◆ 「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と回答した割合は、小学校では全国値を下回っており、中学校では全国値を上回っている。



■教科に関する調査より

◇平均正答率について、全国平均値と比較すると、

- ・小学校では、国語で全国平均値を下回ったが、算数では上回る結果となった。
- ・中学校では、30年度と同様に、すべての教科で全国平均値を上回る結果となった。

◇無解答率について、全国平均値と比較すると、

- ・小学校では、国語・算数ともに全国平均値より低水準となり、課題が見られる結果となった。
- ・中学校では、数学において全国平均値より低水準となり、国語・英語においては全国平均値より高水準の結果となった。

■生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査より

- ・各学校において授業改善は進んでおり、「授業づくり」に関する項目では、肯定的回答が全国値を上回っているものが多かった。しかし、児童・生徒の「授業の内容はよく分かる」の肯定的回答が全国値を下回る結果となっており、授業改善と共に「分かることが実感できる授業」を行うことが必要である。
- ・「自分にはよいところがある」との項目で肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小・中学校ともに全国値を下回り、課題が見られる結果となった。

◆交野市教育委員会として、全国学力・学習状況調査の結果を受け、以下の取組みを行い、小中一貫教育を推進します。

① 授業改善の推進

- 「小・中学校学力充実支援事業」において、神奈川県横須賀市の英語教育や広島県安芸高田市の校内研究体制を教員が視察し、その成果を校内で報告したり、自校の取組みに反映させることで、学校の組織的な取組みを推進し、子どもたちの学力を伸ばします。
- ALTを1名増員することで、小学校低学年から英語に慣れ親しみ、生きた英語を学びながら、着実な英語力を育みます。
- 文教大学 金森 強 教授を講師として、各小中学校の英語担当教員への研修を実施し、「相手意識」や「対話」を重視した英語の授業を展開します。
- 「校内研究サポートプラン」において、きめ細かな教材研究や子どもが主体的に学ぶ授業を研究し、成果を広めることで、「すべての子どもが分かる・できる授業」をめざします。
- 児童の読み取る力を把握し、指導方法の改善につなげるため、「リーディングスキルテスト」をモデル校において実施します。府提供の「かだめしプリント」等を活用するとともに、全小学校で「小学校定期テスト」を実施します。
- 児童・生徒が学びのつながりを意識して学習できるようにするため、小中学校の教員が協働しながら実施している各教科における9年間を通じたカリキュラムの作成や公開授業への取組みを支援します。

② 言語活用力の向上

- 次期学習指導要領の「学びに向かう力」を育成し、子どもどうしが協働しながら学ぶ姿勢を育むため、「プログラミング教育の推進」「外国語教育の充実」「言語活用力の向上」を柱とした小中一貫教育を推進し、「交野市学力向上プラン」「かたのスタンダード」を更新して内容の質を高めます。
- 子どもが本に親しむ機会を増やし言語活用力を向上させるため、学びあいサポーターや図書館アドバイザーを派遣し、授業で学校図書館を積極的に活用し、調べ学習や読書習慣の定着を図ります。

③ 学校・家庭・地域の連携

- 家庭学習の状況を改善するため、「家庭学習の手引き」を活用します。また、各学園（中学校区）での「新たな科」の創設など、子どもが主体的に学ぶ取り組みを推進します。
- 「学園（中学校区）プラン」のリニューアルを支援し、学校・保護者・地域が共通の目標を持って子どもたちの育成ができるような環境整備を推進します。